

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 7 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ターミナルケアを実施していない。	1ユニット9名の家族さんと個別に話し合う事で、それぞれのご家庭の事情を考慮しながら道筋をつける。	家族と主治医そして施設職員との合同の協議の場を設け、話し合いの中でターミナルケアに向かえる家族は、順次向かっていただく。	12ヶ月
2		外出する機会が少ない	施設外の協力も得て見る。 ①コミュニティーセンターの活用する。 ②家族に面会時に外出のお願いをする。 ③利用者を一人ずつでも、自宅近辺をドライブして見る。	①コミュニティーセンターの行事予定を確認して参加出来そうな行事があれば、少人数でも参加する。 ②家族の面会時に日帰りの帰宅をお願いして見る。叶わなければ、施設の方で利用者の自宅近辺をドライブして見る。	6ヶ月
3		職員が研修を受ける機会が少ない。	会社全体で行う研修会は勿論のこと、会社外で行う研修会も調べて、勤務時間内外に関わらず、職員全員がここ1年で少なくとも1回以上は、参加出来るようにする。	出雲のグループホーム協会やら小規模多機能協会が主催する研修会が何件か予定されているので都合のつく職員から参加の予定にしている。又、他の研修会の予定が入れば随時参加していただく。	12ヶ月
4		ケアプランが活かし切れていない。	ケアプランにおける改善点 ①職員間で情報が共有出来る様にする。 ②本人の希望、意向に沿える様にする。	職員全員で全利用者のケアプランを把握できる様、情報交換ノートを作成する。そして、普段から利用者との会話を密にして、本人の希望、意向等を書き込んでモニタリング時に反映させる。	6ヶ月
5		現場に即した理念がない。	現場の職員が、利用者に対して行う介護の精神が反映出来る様な理念を作成する。	ハピネにおける全社的な理念である経営理念とISOの品質方針を参考にしながら、現場の理念を作成する。	3ヶ月
6		家族の声が反映出来ていない。	玄関先の意見箱には、意見が入らないので家族さんの要望を面会時や便り等によって聞き出し、利用者さんの生活をより良いものにしていく。	意見を聞き出す場を設ける。 ①面会時に担当職員から家族さんに聞き出して見る。 ②ハピネ便りの中に意見を聞き出す文書を添えて見る。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。